

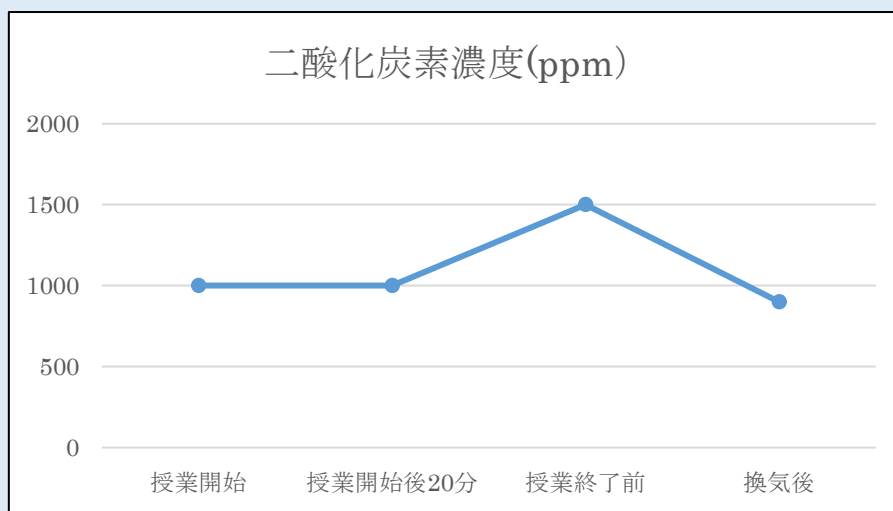
きょうの米原高校(12月16日 環境衛生検査 空気検査)

生徒の健康を保持増進し、学習能率の向上を図るためには、健康的で快適な学習環境を作ることが大切です。そのために、学校においては、毎年、学校薬剤師の先生を中心に環境衛生検査を実施しています。

今日は、暖房使用時における二酸化炭素濃度、一酸化炭素濃度を測定する空気検査を実施しました。



1年5組の教室の授業中に学校薬剤師の先生が入られて、時間の経過と共に変化する二酸化炭素濃度を検知管で測定します。



学校環境衛生の基準では、空気中の二酸化炭素濃度は、1,500ppm以下であるとされています。

今日の検査結果は、授業終了前の時間帯でも基準内に収まるものでした。

また、一酸化炭素濃度は検出されませんでした。

新型コロナウイルス感染症の予防のためにも、学習効率を上げるためにも換気は必要です。

教室内の換気は勿論ですが、家庭などにおいてもこまめに換気を行い、新鮮な空気を取り入れましょう。

